

どうぶつこうえんニコース



千葉市動物公園
Chiba Zoological Park

No.57

2005

秋

開園20周年を迎えて（園長）



千葉市動物公園が開園して、はや20年が過ぎました。

昭和60年4月に第一次オープンして以来、千葉市民を中心に、近隣の多くの市町村や県からも来ていただき、20年間で1,500万人を

超える来園者数となりました。

飼育動物数150余種、日本で唯一の家畜の基となった動物を中心に展示している「家畜の原種ゾーン」や、動物たちと直接ふれあうことができる「子ども動物園」、噴水のある中央広場や芝生広場など、公園としての機能にも富んだ独自の動物公園として皆様に親しまれてきた証ではないでしょうか。

都市化とともに身近な自然がどんどん少なくなり、イヌやネコなどのペット以外、目にすることもまれになった家畜や野生動物たち。そんな現代

に動物公園の果たす役割は大きいと思います。小さな子供たちが、抱いた手の中に感じる動物たちの命、初めて見るゾウやキリンの大きさへの驚き、大声で鳴きながら自在に飛び回るフクロテナガザルの姿に、野生動物の持つ能力の高さをあらためて認識する若い二人連れ、疲れた大人たちを圧倒的な存在感で元気づけるゴリラなど。そして、そんな動物を飼い、繁殖させることで養われた技術は、自然に生きる動物たちの保護に生かされ、また、動物公園は意識して野生動物の保護について啓発してきました。

開園20年という節目に当たり、こうした動物公園の持つ役割をしっかりと再確認するとともに、その役割を継続していくための経営的基盤をどう安定させるか、重要な課題となってきました。公的機関が博物館や動物園を直接運営することの是非を問われる現在、市民の皆様の応援のもと職員一同更なる努力をしていきたいと思っています。

秦 舜二（Shunji Hata）

目次

CONTENTS

表紙【ヒゲゴシキドリ】	①
トピックス【開園20周年を迎えて】	②
特集 子ども動物園より（2）	③
特集【レッサーパンダ】（分類と生態）	④
【レッサーパンダ】（飼育担当者から）	⑤
動物公園の植物②【キリン放飼場のヒマワリ畑】	⑥
第21回 サマースクール	⑥
動物公園日誌から【'05.4/1～'05.6/30】	⑦
裏表紙【フタユピナマケモノ】	⑧
Information	⑧

表紙の動物説明 ヒゲゴシキドリ

ゴシキドリは、キツツキ目に分類されており、2本の足指が前、2本が後ろを向いたタイプで、うまく木に登ることが出来る。また、巣もキツツキ科の鳥と同じく樹洞に造る。ヒゲゴシキドリは、大きく太いくちばしと、その周囲にある毛羽だった羽毛があり、体の上部が黒く、腹側は赤くて胸に黒い縞があり脇腹は白く、雌雄同色である。体長は、25cm程でわりと大きな鳥である。食性は、昆虫も食べるが、特に野生のイチジクなどの果実を好む。生息地は、アフリカのサハラ砂漠南部である。

小林 正典（Masanori Kobayashi）

撮影：宮川 千尋（Chihiro Miyakawa）

動物飼育数

Classified number of animals
as of 31.Jul.2005

平成17年7月末現在の飼育数

哺乳類	67種	461点	両生類	1種	1点
鳥類	74種	281点	魚類	0種	0点
爬虫類	6種	30点	総計	148種	773点



子ども動物園より(2)



子ども動物園のヤギ・ヒツジコーナーより



◆ヤギの赤ちゃんが生まれたよ～！◆

お母さんヤギの名前は、「ナッツ」。赤ちゃんは双子です。しかも雄と雌。最初に生まれたのは雄です(お兄ちゃん)。7月3日の午後、ゴリラのモモタロウのお誕生会も開催されている中、出産しました。最初の仔はなかなか出産出来ず、飼育係の手を借りて出産しました。2頭目は普通に産しました。名前は、お母さんヤギ「ナッツ」にちなんで、木の実系で、雄は「カシュー」、雌は「クルミ」という名前になりました。

3頭目の仔ヤギは、7月7日生まれ、8日の朝出勤してき

たら、もうすっかり立ち上がっていました。夜のうちに無事出産したようです。雌の「ココア」です。「ココ」が1頭生まれました。

双子のヤギは、お母さんヤギが横になって座っていると体の上に登ったり、とびこえたりと、可愛い姿も見られます。仔ヤギたちは、とても好奇心旺盛で、高い所も平気らしく、ヤギ・ヒツジコーナーの岩場の高い所にも仔ヤギたちだけで、遊んでいる様子も最近では見られます。

ヤギの赤ちゃんは、「子ども動物園」で元気に暮らしています。赤ちゃん誕生のニュースを伝える案内板も、とても見やすく楽しい感じです。是非みなさんカワイイ仔ヤギたちを見に来てくださいね～。

伊場 真彦 (Masahiko Iba)





レッサーパンダ学入門

発見

レッサーパンダ (Lesser Panda) は小型のパンダという意味で、欧米ではレッドパンダ (Red Panda) のほうが一般的です。パンダの語源はネパールの言葉で「ニガラポンヤ (竹を食べる者)」からきています。

学名は *Ailurus Fulgens* で火色のネコ (Fire-colored cat) という意味です。中国では13世紀の巻物に書かれていますので、古くから知られていたようです。西洋では1821年にトーマス・ハードウィックがヒマラヤ山脈で発見したのが最初で、1825年有名な解剖学者のフレデリック・キュビエが「世界で一番美しい動物」として正式に報告したので、学名の命名者もキュビエです。



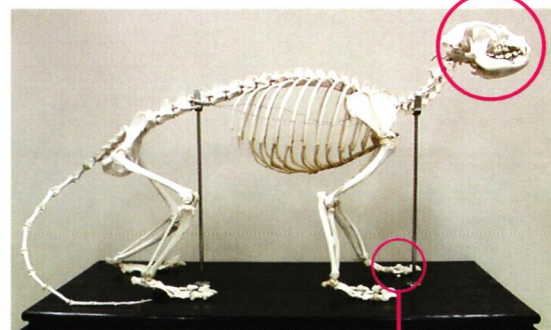
分類

レッサーパンダの分類はクマ科、アライグマ科 (当園のアカハナグマ、キンカジューもこの仲間)、パンダ科 (ジャイアントパンダも含む) のどれに分類するのか長い間学問的論争が続いています。レッサーパンダと、ジャイアントパンダはアライグマの仲間とクマの仲間といくつかの共通の特徴をもっていますが、違っているところも多いです。両パンダだけの特有の特徴もっています。進化上は共通の祖先から、先にアライグマが出現し、少し遅れてレッサーパンダが出現、その後ジャイアントパンダとクマが出現したというのが有力な学説です。レッサーパンダはヒマラヤ地方に分布するネパールレッサーパンダ、それ以外の東に分布するシセンレッサーパンダの2亜種があります。前者の方が小さく、体の毛の色が淡く、特に顔の色が淡いです。

体の特徴

顔は赤茶からうす茶で黒い鼻先のまわり、頬、目の上、耳のふちは白くなっています。目の上の白い模様は小さいものから、頬の白い模様につながっているものまで、個体差がかなりあります。体は首、肩、背中^{ほほ}は赤茶からうす茶で、のどや腹、手足は黒く、尾は長くて、白っぽいリング模様になっています。体の大きさに性差はなく、野生下での体重は3.3~4.8kg、全長 (鼻先から尾先まで) で約1m、その6割位が胴体で4割が尾です。頭骨は繊維の多い植物を食べるのに適した臼歯とかむ力の強い筋肉が付いているため、鼻先がとがってなく、大きな頭になっています。その結果、胴体にくらべ頭が大きく、可愛

さの要因の一つとなっています。手足は歩いたり、走ったりするのに適し、半分出し入れできる鉤爪は木登りに役立ちます。また手足の裏は毛がたくさんはえており、冷たい凍った地面でも歩きやすくなっています。手首の骨のうち親指側の種子骨が長く伸びていて、物をつかむのに役立ちます。



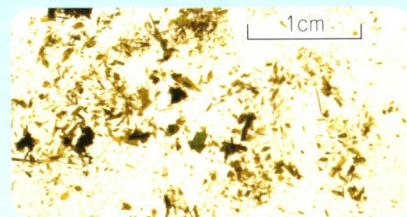
レッサーパンダの左前足：矢印が種子骨

分布

ネパール、チベット、インドのアッサムとシッキム、ブータン、南中国の中央部の雲南と四川の標高1,500~4,800mの竹林の交じる山地の森林にすんでいます。分布の東端の四川ではジャイアントパンダと同じところにすんでいます。野生の個体数は約16,000~20,000頭と推定されています。



なくてはなりません（小さい葉を1日20万枚食べるという報告があります）。それらの葉を食べた時のフンは緑色で細かく分解されていて、少し緑茶のにおいがします。その他にナナカマド類の果実、ドングリ、キノコ、鳥やその卵も食べることがあります。



フンを水に溶かした写真

生態

子連れのメス以外は単独で行動しています。メスは1~1.5 km²の行動域をもち、メス同士はほとんど重複しません。オスの行動域はメスより広く、いくつかのメスのものと重複しています。活動は1日中活動しますが、朝・夕が活発です。1日の半分は木の洞や木の枝の上で休息してすごします。普通は体を丸めて休みますが、暑い時は体をのばして、腹ばいで休みます。肛門の近くと後ろ足の裏に臭腺があり、こすりつけてにおいをつけます。なわばりなどの個体間のコミュニケーションの手段に使われています。

保護

生息地の多くは動物保護区になっています。ワシントン条約では附属書1（絶滅のおそれのある種）、レッドリストではEndangered（絶滅に瀕しているもの）に入れられ、最高レベルの保護動物になっています。全世界で約800頭（うち日本では約240頭）が飼育されています。

宝川 範久 (Norihisa Takaragawa)

繁殖

交尾期は1~3月で、妊娠期間は90~168日（幅があるのは受精卵が初期の段階でとまり、その後発生が進む着床遅延のためです。）、出産は5~8月で、約120gの開眼していない、濃い灰色の毛におおわれた子を普通1~2頭（まれに3~4頭）出産します。18日で目が開き、70日ぐらいでパンダらしい毛模様になります。3カ月になると、木登りもでき、巣から離れるようになり、約1年でオトナの大きさになります。性成熟は1年半です。野生での寿命はわかっていませんが、飼育下では普通8~10年で、17年半という記録もあります。

食性

主食はササとタケの葉と若芽で、春にはそのタケノコ（皮をむいて食べる）も食べます。しかし、それらの葉の4分の1ぐらいしか、消化器内で分解できず、たくさん食べ

飼育担当者から

私は、4月からレッサーパンダの飼育担当になり、いつもの平穏な日々を過ごしておりました。しかし、5月19日の朝、ゾウガメ舎の掃除をしていた時のことです。突然、園内専用のPHSが鳴り響き、「レッサーパンダは、何時に展示場に出ますか？」と電話がありました。いつものように「9時過ぎですよ。」と私。「取材があるので早めに出して下さい。」とのことでした。のん気な私は、この後、大変なことになるとは思ってもおりませんでした。レッサーパンダ舎に行き着き、展示場に入って驚きました。高価なカメラと取材の皆様が準備をしているのです。何だか凄いことになってきました。そして、「風太！行っておいで!!」と扉を開けて、何も知らずに出て行きました。これがスーパーアイドル風太くん誕生の瞬間です。この後、テレビや新聞の報道で有名になっていったのです。有名になったのは、皆様がよく知っていらっしゃる風太くんの立ち姿です。レッサ



スーパー
アイドル

風太くん

ーパンダは、2本足で立つことが出来ますので、それほど気にはしていませんでしたが、姿勢の良さやルックスの可愛いらしさが、立っている時間が長いのも魅力的です。

そんな風太くんを一目見ようとたくさんのお客様にご来園して頂きました。誠に有り難うございました。姿勢の良い立ち姿がご

覧になれるのは、風太くん次第ですので、人集りが出来てしまう一大事になりました。風太くんの体調の心配とお客様がケガやトラブルのないよう配慮をしたりと、今までにない体験が出来ました。さてさて、これからの風太くんには、どんな風が吹くのでしょうか。陰ながら見守ってあげたいと思います。風太くんの立ち姿がご覧になれる時はゴメンナサイ。愛らしい姿で許してあげて下さいね。そして、他にも魅力的な動物がおります。皆様だけのアイドルを探してみても如何でしょうか？

千葉 茂 (Shigeru Chiba)



動物公園の植物…②⑥

The plants in the Zoological park

キリン放飼場のヒマワリ畑

20周年記念事業の一環として、動物公園にヒマワリ畑が登場しました。場所は、草原ゾーンのキリン放飼場内で、通常はキリンの背景となる、草に覆われた小高い山の上部に設置されました。

ヒマワリ畑を作る準備作業として、^{ことうん}耕耘作業を行い、次に5月9日、11日、12日の3日間に分けて、近隣幼稚園（まこと東幼稚園、みつわ台幼稚園、千葉聖心幼稚園）の園児約200名によって種まきが行われました。参加した園児は、みんな年長さんで、手のひらに渡されたヒマワリの種を大事に持ちながら土に穴を開け、一粒ずつ種をまいていました（中には一度にまいてしまった園児もいましたが…）。

ところで、今回のヒマワリ畑を作るにあたり、一番頭を悩ませたのはカラスの存在でした。動物公園自体が開放型の動物展示を行っていることから、動物のエサを狙ったカラスが多く飛来します。このカラスからヒマワリをどう守



るかが非常に問題でしたが、防鳥ネットを全面に張り、ヒマワリがある程度大きくなった段階で外すことにより、多少被害はありましたが、最小限に抑えることが出来ました。

今回まかれたヒマワリは「大雪山」という品種で、シロタエヒマワリの園芸品種にあたります。花は少し小さめですが、分岐するタイプなので開花期間が長く、葉や茎が白い綿毛で覆われており、銀色で雪山に花が咲いているように感じさせるのが特徴です。一般的なヒマワリとはまた違った感じですので、一度ご覧になってください。

八木 牧夫 (Makio Yagi)



まこと東幼稚園



みつわ台幼稚園



千葉聖心幼稚園

第
21
回

サマースクール

平成17年7月27日(水)～29日(金)

SUMMER SCHOOL

今年も、昨年に引き続きサマースクールに応募する時に「世話してみたい動物」の名前を書いてもらいました。やはり人気No.1はアシカとペンギンが圧倒的でした。

午前中は、飼育係と一緒に動物の部屋のお掃除・エサの準備などを体験し、午後は新しい取組といたしまして、マウスの家づくり・遊び場づくりに挑戦してもらいました。

子供たちの独創性に富んだすてきな家に、マウスも大変うれしそうに出たり入ったりして、大変良かったと思いました。皆さん大変良く出来ました。

石井 直人 (Naoto Ishii)





動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

'05年4月1日～'05年6月30日

- 4月1日 アフリカハゲコウ、展示再開
- 4月4日 フンボルトペンギン、孵化
- 4月9日 エリマキキツネザル、収容後鳴きあう
- 4月10日 パタスザル（雄、仔）、フェンスに右腕を入れ抜けなくなる 骨折のため入院
- 4月12日 骨折のパタスザル、麻酔下で整復しギプス固定
- 4月13日 ショウガラゴ（1頭）、繁殖
マダガスカルホシガメ（7頭）、警視庁より保管
- 4月15日 フンボルトペンギン、産卵
プレーリードッグ（雄）、死亡
- 4月17日 **ムフロン（1頭）、繁殖**
「ワンポイントウォッチング」（ミナミコアリクイ）
- 4月19日 タンチョウ、産卵
- 4月20日 オジロワシ、産卵
- 4月22日 **ムフロン（1頭）、繁殖**
キングペンギン（1頭）、死亡
ジェフロイクモザル（雌）、麻酔下でX線検査



4月17日と22日に生まれた仔

- 4月26日 チンチラ（1頭）、繁殖
- 4月27日 アフリカ草原Bの山、ヒマワリ畑のために耕す
- 4月28日 ヒゲゴシキドリ（2羽）、バードホールに放す
- 4月30日 ヒゲゴシキドリ、採食確認
- 5月5日 フンボルトペンギン（雄、雛）、死亡
- 5月6日 カラフトフクロウ、産卵（2卵）
- 5月7日 ホオカザリヅル、産卵（2卵）
- 5月8日 オランウータン（雄）、寝室で絵の具と紙などを与えるが、ぐしゃぐしゃにする
バードウィーク講演会
- 5月11日 草原Bの山、ヒマワリの種まき
- 5月14日 「ワンポイントウォッチング」（アジアゾウ）
オオカンガルー（仔）、死亡
- 5月15日 ファミリーシアター開催
- 5月16日 骨折していたパタスザル（雄、仔）、退院

- 5月18日 八千代市、小中学校理科部会研修
- 5月19日 日本ペット&アニマル専門学校実習
- 5月21日 レッサーパンダ、12時～13時まで展示に休憩を設ける
カリフォルニアアシカ（雌、仔）、死亡
- 5月22日 ゆかいな森の音楽会
- 5月25日 ゲルディーモンキー（雌）、死亡
クロザル、繁殖
- 5月26日 ニホンザル、繁殖
ミケリス（雌）、過長な上顎門歯（外側へ反転）を抜歯
- 5月27日 タンチョウ、産卵（2卵）



- 5月29日 **ヒツジの毛刈りと紡毛教室**
コアリクイに朽木を与えるとアリを食す
セキショクヤケイ（雄、雌）、多摩動物公園より新着
- 6月3日 エミュウ（雌）、死亡
- 6月7日 ゾウのターゲットトレーニング、担当職員以外で試してみる
- 6月8日 本日より飼育実習生1名、6月25日まで
- 6月11日 モウコノウマ（雌）、本日より夜間も放飼場に出す
- 6月17日 オニオオハシ（1羽）、新着
「ワンポイントウォッチング」（ラマ）
- 6月19日 Zooキッズデー
- 6月25日 フタユビナマケモノ（雌、1頭）、バードホールへ移動
- 6月27日 セキショクヤケイ、産卵

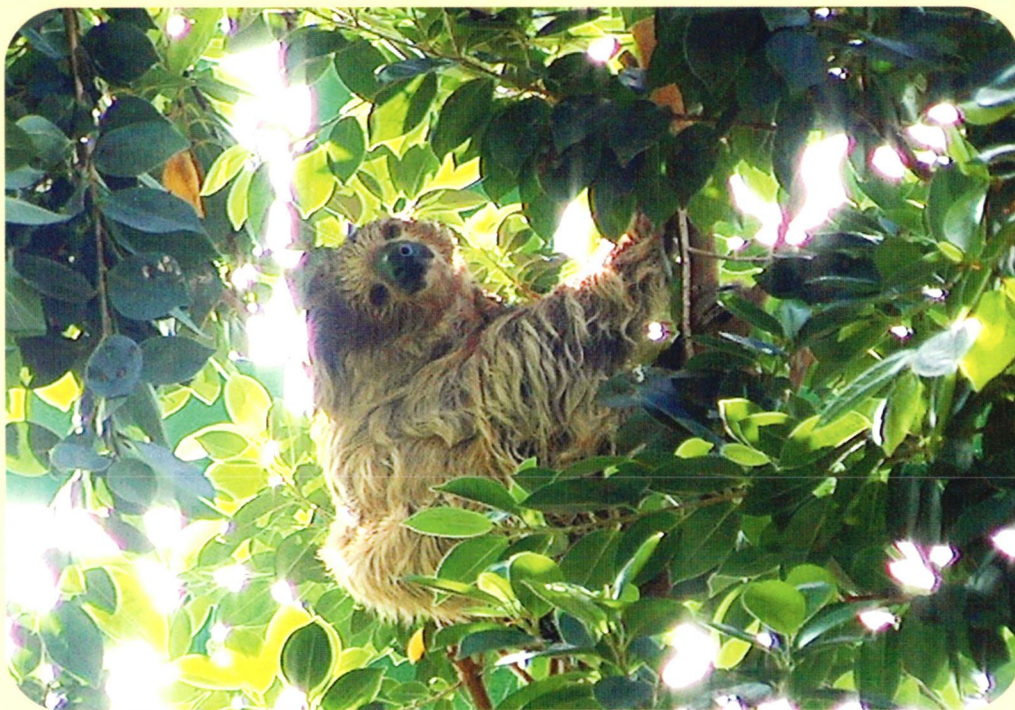
浅野 洋之（Hiroyuki Asano）

編集後記

暑い夏も、もう少しのしんぼう。当動物公園の人気の独り占めしたレッサーパンダの「風太」もようやく元気が出てくることと思います。この夏休みはたくさんの来園者があり、「風太」も夏バテ気味のようでした。秋になると、また元気に動き回るようになり、皆さんを楽しませてくれることと期待しています。また、静かなプームを呼んでいる動かぬ鳥「ハシビロコウ」も皆さんを待っています。秋の行楽シーズンに向けて、楽しいイベントをたくさん用意しておりますので、ぜひご家族おそろいで、当動物公園にお越しください。一同お待ちしております。

なお、次回の発行予定は12月1日です。

名和 全孝（Zenkou Nawa）



フタユビナマケモノ



Information

平成17年9月・10月・11月の
催し物一覧

- ★ 9 月 23 日 金 紙芝居会
- ★ 9 月 24 日 土 ワンポイントウォッチング (ヒロハシサギ)
- ★ 9 月 25 日 日 折り紙教室
- ★ 10 月 16 日 日 ワンポイントウォッチング (プレーリードッグ)
- ★ 10 月 23 日 日 ゆかいな森の音楽会
- ★ 10 月 29 日 土 クイズラリー
- ★ 10 月 30 日 日 連続講座「工芸作品のモチーフとしての動物」
- ★ 11 月 13 日 日 ワンポイントウォッチング (シタツンガ)